



2019-2020年度R.I.テーマ
ロータリーは世界をつなぐ

第2795回 例会

2019.9.5

会長あいさつ



2019-2020年度 須田 悦正 会長

週報 No.2124
発行 2019年 9月 12日

2019-2020年度
会長 須田 悦正
幹事 齋藤 修弘
副会長 宇多村海晃
副幹事 深澤 圭司
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 横山 泰史

ゲスト
公益社団法人
埼玉中央青年会議所
2019年度 第24代
理事長 木田高史様
2019年度 資質向上委員会
委員長 小池佑弥様

行事予定

9月19日 卓話(公社)埼玉中央
青年会議所 2018年度
UN関係会議
統括幹事 小松裕介様

9月26日 部門セミナー報告
(公共イメージ、会員増強、
職業奉仕、R財団部門)

皆さまこんにちは。本日はお忙しい中、本年度第9回例会に多数の皆さまにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日は埼玉中央青年会議所 理事長 木田高史様、小池佑弥様、お忙しい中お越しいただきまして大変ありがとうございます。

先週の夜間例会は出席者が少なく、例会が成立するかどうかという人数でした。会長挨拶に魅力がなくて人数が少ないのではないかと本気で悩みました。例会で人数が少ないと寂しいものですね。そこで、例会後の懇親会に参加した全員で熱い議論が交わされました。例会の人数が少ないのはなぜなのか？ 月末だからたまたま、みんな都合が悪かったのか。その言葉で済まして良いのか。何か他に原因があるのではないかと、真剣に向き合えないと解決していかないとのお言葉もいただきました。では、なぜだろうと考えました。極論を言ってしまえば、例えばビル・ゲイツや安室奈美恵が卓話にくるとなれば、大騒ぎになります。ただそれだけではないように思います。プログラムが良いから出席率が上がるということもあるかと思いますが、それ以外にも問題はありますか。いろいろと考えましたが、結局答えはありませんでした。ただ一つ、分かったのは、幹事も話したのですが例会を開催する立場からすると、人数が少ないの、寂しさと責任を感じるものでした。なので、まだ会長職が終わってませんが、次年度以降も例会には、極力出席して出席数「1」になっていこうと心に決めた夜でした。出席率に関しては、是非皆さんのご意見もお聞かせいただければありがたいです。今後の例会運営に生かして行きたいと考えています。

また、台南東北RCからの招待に関しても議論がされました。台南東北RCから招待をいただいた例会に今後姉妹クラブとして締結していくのに、クラブとして3名しか出席しないのはいかなかなのかと。私個人の意見も述べさせていただきましたが、私の見解とは別の見方のご意見もいただきました。見解の違い、価値観の違いが存在しましたが様々な見方があるのだと改めて勉強させられました。そういった違いがあるからこそ楽しいし、発展していくのだと思います。その違いを拒否するのではなく、受け入れ昇華させられるように精進いたします。

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

ありがとうございました。
さてここで先日のニュースをお伝えしたいと思います。全米オープンで大坂なおみさんと若干15歳のガウフさんが戦い、ストレートで大坂なおみさんが勝ちました。ガウフさんが泣いていたところ、大坂さんは近寄り声をかけ、本来であれば敗者はなるべく早くコート去らなければならないという暗黙のルールがある中、「一緒にインタビューを受けよう」と提案しました。これは大坂さんの優しさと「こうでなければならない」という既成概念をい意味で無視する素晴らしい行動ではなかったかと私は思います。大坂さんはアメリカ人から見たら、あくまでも「日本人」です。この試合に限っては多くの人がアメリカ人であるガウフさんを応援していたそうです。ただ、この一つの行動によって会場全体や視聴者全体を「心地よい」気持ちにさせてくれたのは間違いありません。たったひとつの行動によって、全てを暖かくするんです。素晴らしい出来事だったように思います。このことから私は、目の前の事象に対して、自分の考えや固定概念に固執せず「優しさ」を持って接すれば、ミステイクはないのではないか。間違った方向に進まない。という確証を得たように思います。年度当初にもお話ししたように私は「アガペー」の心を持って1年間過ごします。と宣言しました。再確認できるように思います。

さて、昨今の頃は過去25年で最大と言われる、台風21号により、日本列島の広い地域で甚大な被害を受けました。また、北海道地方で最大震度6強という大地震が発生し、当時米山記念奨学生だった鄭維嘉さんが、卒業旅行で北海道に閉じ込められていたのは昨日のこのようです。昨年は大規模な自然災害や天災が頻発していました。そう考えると今年は比較的平穏な日々が続いているように感じます。本日もどうぞよろしくお願いたします。

幹事報告

齋藤 修弘幹事

◇本日の例会終了後、会員選考委員会が開催されます。担当委員の方のご出席をお願いいたします。

◇9月のロータリーレートは1ドル=106円です。

◇以前お配りした台南のガイドブックがまだありますので欲しい方は幹事までご連絡ください。

委員長報告

ロータリー財団委員会 樋口雅之委員長

本日、大塚崇行会員と久保田会員から1000ドルのご寄付を頂戴しました。ありがとうございます。

米山記念奨学・学友委員会 藤村 作 委員長

本日、小林邦彦会員と須田会長からご寄付を頂戴しました。ありがとうございます。

近況報告

小田切 宏治会員

ロータリー活動が私の1つの楽しみになっています。8月22日の例会でサハラマラン230kmを完走された本田様のお話を興味深く聞いて、お話の中で紹介されていたフリーズドライの食品を私も通販で何点か購入して食べてみました。本田様が「非常に美味しかった」と仰っていましたように、お味噌汁は想像以上に旨味が強く美味しかったです。他にも、にゅうめん、親子丼、カレーなど普通に食事になるメニューがフリーズドライで販売されています。皆様もぜひお話し上がりになっていただければと思います(笑)。ありがとうございます。

例会主題

(公社)埼玉中央JC 2019年度 第24代理事長 木田高史様

皆さんこんにちは。青年会議所の理事長ではありますが、私は1会社員という立場で青年会議所に所属させていただいております。茨城県水戸市で生まれ育ち、地方の大学を経て東京に就職し、埼玉に移り住んで(株)セレモニーに中途採用していただきました。上尾RCの芳賀君と同じ企業です。

埼玉青年会議所24年間で、サラリーマンが理事長職を務めることは過去にはありませんでした。1990年代にアメリカでダイバーシティという言葉が流行り、日本にも広く知れ渡るようになってきたと思います。ダイバーシティ&インクルージョン＝「多様性の受容」ということで青年会議所の先輩諸君の方の皆様に寛容いただき、社員の私が理事長としてメンバーを率いる形を許されてもら

っています。さまざまな経験を積んでくれば、1つ1つ私の肥やしにしていけたらなあと思っております。皆さまには理事長所信をお配りさせていただいております。RCさんと同じように青年会議所も単年度制で動いております。皆様のご一読いただけたら幸いです。

私が青年会議所に入ったのは2010年になります。普段は会社で事務方ですが、役員にとあるお寺に連れていかれ、そちらが浦和青年会議所のOBのお寺で、入会案内を受け入会に至ったわけです。入会時にはJCの活動について消極的でしたが、2011年3月に起きた東日本大震災を機に、転機が訪れました。私は関東地区協議会・夢溢れる地域創造委員会に出席して、3月11日に震災が起きた後、すぐに動いて3月17日にはいわき市にいました。区役所には日本全国から集まった大勢の災害ボランティアさんが飽和状態で門前払いされ途方に暮れていたのですが、そうした中で野崎副会長は区役所の窓口で名刺を渡してどんどん中に入っていて、行政から「自由に活動してください」と言われました。ここで私は青年会議所の力は凄いなあと実感しました。さて「自由に活動」と言われたので浜通りに行ったら津波に流され何も無い状態で、避難所にいた方々は寒い中で乾パンを食べていて、周りの方に助けられないか尋ねたら「終わりが見えなさ過ぎて手出しができない」という返事だったので、早速私たちは多くの食材をもって炊き出しを行いました。子どもがいる他の避難所では映画を上映し、活動の度に行政に報告に行きました。このボランティア体験は自分の糧になり、以降、JCの活動に積極的に参加するようになりました。

積極的に活動するためには会社の理解が必要です。2013年には「理事にならないか」という打診を受け、会社の上司・経営者に相談したら「やってこい」という返事をいただきました。2015年に議案審査会議の副議長となり、さまざまな事業の議案書を見て、実に幅広く奥深く活動している青年会議所全体の運動に改めて気づかされました。

2016年には副理事長の打診があり、会社に相談したら「頼まれ事は、試され事だから、役を受けてみる」と快諾され、役に就きました。この頃、全国大会の誘致を展開していたので、理事長の代わりにさまざまな交渉を行い、相談を受けました。

2017年に埼玉県で初めて全国大会が行われ、その年は専務理事を務めていました。会の下支えを最前線で行う役職で不安も多く、会社の志賀代表に相談をしたら「自分は仕事の都合で入会できなかったの、だから

こそさまざまな経験してきてくれ」と言われ、血縁でもない私に、JCの活動を後押ししてくれて、会社の懐の深さに改めて驚きました。私に対して巨額な投資をしてくれる会社に対して、私が積んだ経験を会社に還元しなければいけないと思ふようになりました。

さてJCの第66回全国大会埼玉中央大会の登録者数は15,192名いて、青年経済人が夜の南銀で溢れかえり、店舗は「過去最高の売上をたたき出した」というほど経済効果もありました。全国大会の事業規模としては開会式典を埼玉スタジアム2002で、閉会式典を埼玉スーパーアリーナをそれぞれ借り切って行いました。全国大会には宮様の御成がごさいます。2017年は寛仁親王妃信子殿下が御成りいただきました。専務理事だった私はさまざまなアテンドや宮内庁との交渉なども行い、貴重な経験を積ませていただきました。

2018年、さまざまな経験・役職を積ませていただいた私だからこそ、メンバーには「機会があったら、何でも挑戦してみろ」と言っていました。さて私自身は専務理事を経て監事を務めていて、この上には理事長しかなかったの、会社に相談して、2019年に理事長を仰せつかりました。

会社の仕事をしながら青年会議所の理事長職を務めていていちばん学んだのは組織マネジメントと自己調整力です。会社では働き盛りで、家族の時間も大切な年齢に、なぜ青年会議所があるのかという、日本の運動の根幹を成すのは20代・30代・40代の私たちが、40代・50代になった時の日本を思い描いた時、もしくは自分の子どもたちが大人になった時のことを真剣に考えられるのは我々の世代だからです。だからこそ当事者意識がある責任世代としての活動期間はなにごとにも代え難い貴重な期間ですので、二度とない人生、我々のような若い世代が真剣に街の未来を見据えて活動をしていく大切さを学んでいけるのが青年会議所です。会社員として初の理事長になった私からは「なんでも挑戦できるよ」と率先して発信していきたいと思っています。現在、埼玉中央青年会議所には192名の会員がいます。年当初144名のスタートでしたので50名の会員拡大となっています。1996年当時は300名の会員がいたと聞いていますので、ぜひ人生の先輩諸君の皆さまに拡大のお手伝いをしていただけたらと思っています。ご子息や取引先の20～40歳までの若い世代がいまいたらぜひご紹介いただけたらと思います。経営者のみならず、社員のメンバーも増えていて新しい風が吹きはじまっているところです。まさにダイバーシティ&インクルージョン＝「多様性の受容」

です。運動の手法は変わっても、青年会議所の精神性は変わらずに活動を展開していきますので、ぜひよろしくお願いいたします。本日はご清聴いただきありがとうございます。

(公社)埼玉中央JC 2019年度 資質向上委員会委員長 小池佑弥様

元サッカー日本代表で現沖繩SV監督兼選手の高原直泰氏を講師に招いて、『今取り組むべき「変革」の一手～なぜ、沖繩のサッカークラブがコーヒー豆を栽培するのか?』講演会を、9月29日(日)13:30～15:00、上尾市文化センター 中ホールで開催します。公益社団法人 埼玉中央青年会議所と上尾商工会議所青年部による共催で、入場無料です。ぜひ受講いただければと思います。詳しくは「埼玉中央JC」で検索をお願いいたします。よろしくお願いたします。

木田様、小池様、ありがとうございました!



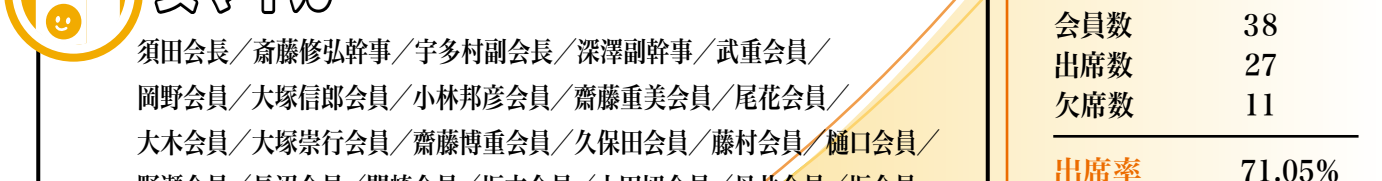
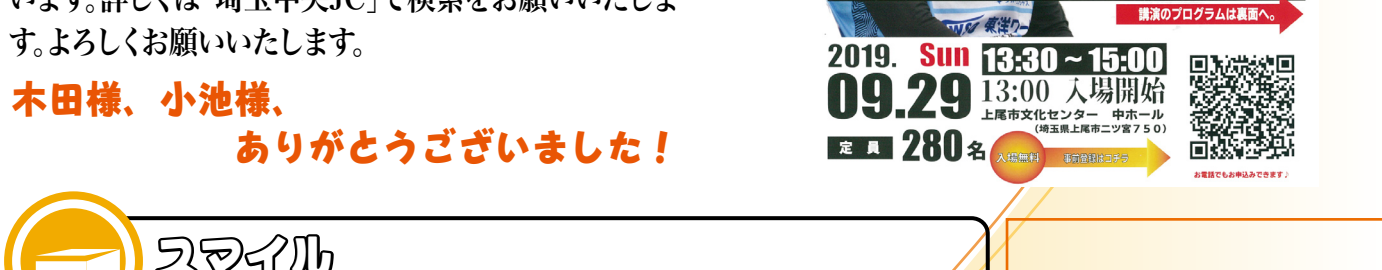
スマイル

須田会長/齋藤修弘幹事/宇多村副会長/深澤副幹事/武重会員/
岡野会員/大塚信郎会員/小林邦彦会員/齋藤重美会員/尾花会員/
大木会員/大塚崇行会員/齋藤博重会員/久保田会員/藤村会員/樋口会員/
野瀬会員/長沼会員/門崎会員/坂本会員/小田切会員/丹井会員/坂会員

会員数 38
出席数 27
欠席数 11
出席率 71.05%

樋口雅之直前会長を慰労する会が開催されました

樋口直前会長、宇多村直前幹事、2018-2019年度、たいへんお疲れ様でした!



2019,9,5 於:恵比寿亭 世話人 藤村作直前会長

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 東武バネクトホール4F(ポリラス) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

